

エコアクション21

環境活動レポート

2008 年度

活動期間：2008 年 12 月～2009 年 2 月



2009 年 4 月 6 日発行

BLUETEC

ブルーテック株式会社

〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町 130 番地 42 さかい新事業センター内

TEL : 072-255-2022 FAX : 072-255-4567

URL : <http://www.bluetec.co.jp> E-mail : info@bluetec.co.jp

目次

1. ご挨拶.....	2
2. 環境方針.....	3
3. 事業概要.....	4
3.1. 会社概要.....	4
3.2. 登録事業内容と認証範囲.....	4
3.3. 環境管理.....	4
3.4. 事業規模.....	4
4. 環境活動の実績と評価.....	5
4.1. 環境目標とその実績.....	5
4.2. 今期活動結果とその評価.....	5
4.3. 環境関連法規の遵守状況.....	6
4.4. その他の環境活動への取組み.....	7
4.4.1. 六価クロム溶出低減型固化材「アトムシックス」のLCAの実施.....	7
4.5. 代表者による全体評価と見直し.....	8
5. 今後の環境目標と活動計画.....	10

1. ご挨拶

環境負荷低減型の建築土木資材の提供と廃棄物の有効活用を推進することにより、持続可能な社会（サステナビリティ）への貢献を追及する。

上記が当社の経営理念であり、当社設立の目的でもあります。ブルーテック株式会社は、2008年3月、上記の経営理念を掲げて、環境負荷低減型のセメント系地盤改良固化材の販売を開始するところからスタートしました。折しも、地球温暖化への懸念が世界各地で叫ばれ、国民全体の環境意識の高まりが始まった時期でもありました。

設立当初から、環境負荷低減型固化材の販売をはじめ、カーボンオフセット商品の導入、廃棄物リサイクル技術の大学との共同研究など、積極的に環境を意識した事業を行ってまいりましたが、このたび、それに加え、当社自身の環境負荷低減の取組みとして、エコアクション21への取組みを2008年12月から開始いたしました。

エコアクション21の取組みを始めてまだ3か月ですが、省エネ効果やエコ製品の購入割合が上がっただけでなく、社員一人一人の意識が、何をするにも環境によいかどうかを意識するようになったことが一番の収穫だと思っております。当社の本業は先にも述べましたとおり、環境負荷低減型のサービスを提供することですので、もともと環境への意識は高かったのですが、振り返って自分自身の行動の一つ一つにも真剣に環境のことを意識するようになったことは、大いなる進歩であると感じております。

今後も、エコアクション21の活動を継続するにあたっては、環境負荷低減の意識を高く持ち続け、毎年、毎年、着実に環境目標をクリアすべく邁進する所存ですので、皆様におかれましても、これまで以上のご支援、ご協力をお願いいたします。

代表取締役 小林 清

2. 環境方針

環境理念

ブルーテック株式会社は、建設資材を販売する企業として、環境に配慮し、環境問題に積極的に取り組み、循環型社会の形成に貢献することを環境理念とし、以下の環境方針に従って環境負荷の低減に継続的に取り組みます。

環境方針

- 1 事業活動に関わる、環境関連の法規・条例及び、当社の宣言事項を順守します。
- 2 環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に重点的に取り組みます。
 - 2.1 省エネルギーと温室効果ガスの発生抑制
 - 2.2 循環型社会のための、省資源及び廃棄物の削減及びリサイクルの推進
 - 2.3 節水の推進
 - 2.4 環境に配慮した製品の積極的な販売
 - 2.5 環境に配慮した製品の積極的な活用
- 3 環境方針は、全従業員に周知するとともに、環境意識向上を図ります。

2008年11月25日制定

ブルーテック株式会社

代表取締役社長 小林 清



3. 事業概要

3.1. 会社概要

企業名	ブルーテック株式会社
所在地	〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町 130 番地 42 さかい新事業創造センター内 
連絡先	TEL : 072-255-2022 FAX : 072-255-4567 E-mail : info@bluetec.co.jp URL : http://www.bluetec.co.jp/
設立年月日	2008年3月4日
資本金	9百万円
代表者	代表取締役 小林 清
沿革	2008年3月 さかい新事業創造センター (S-Cube) にて創業。カーボンオフセット型地盤改良固化材をはじめとした建築資材の販売を開始する。 現在に至る

3.2. 登録事業内容と認証範囲

住所	大阪府堺市北区長曾根町 130 番地 42 さかい新事業創造センター内 317 号室
事業内容	建築土木資材の販売

3.3. 環境管理

環境責任者	取締役 前場 俊輔
連絡先	TEL : 072-255-2022 FAX : 072-255-4567 E-mail : s.maeba@bluetec.co.jp

3.4. 事業規模

売上高	21,774 千円 (2008年9月決算時)
従業員数	2名
オフィス面積	30 m ²

4. 環境活動の実績と評価

4.1. 環境目標とその実績

		2008.9 月期	2009.9 月期			2010.9 月期	2011.9 月期
		*1	昨 12 月～2 月			昨 10 月～9 月	昨 10 月～9 月
項目	単位	基準年	目標	実績(通期)*2	実績	目標	目標
節電 (空調)	kwh	2,726	2,671	1,752.12	438.03	2,617	2,562
節電 (電灯)	kwh	1,936	1,897	2,684	671	1,859	1,820
CO2 削減	Kg-CO2	1,762	1,727	1,676	419	1,692	1,656
節水活動推進	%	70	77	100	100	84	91
燃えるごみ減量	Kg	36	35	14	3.5	34	33
エコ商品購入率	%	4	40	25	25	45	50
環境製品販売	トン	10,621	13,808	19,368.8	4,842.2	19,118	24,004
参考 (売上高)	千円	65,321	—	—	—	—	—

*1 2008.9 月期(2007/10～2008/9)は実活動した 2008/7～2008/9 の値を通期相当(12 か月分)に変換

*2 仮運用期間(2008/12～2009/2)の値を通期相当 (12 か月分) に変換した値

4.2. 今期活動結果とその評価

実績値は、すべて仮運用期間(2008/12～2009/2)の値を通期相当 (12 か月分) に変換した値を用いた。

基準年比は、実績値を基準年と比較した増減率 (= (実績値－基準値) / 基準値) を表している。

取組計画	達成状況	評価
節電 (空調)	目標 2,671kwh	目標達成
<ul style="list-style-type: none"> 空調設定の適正化 (夏季 28℃、冬期 20℃) 換気の設定を弱にする。 	実績 1,752 kwh 基準年比 -35.7%	電気ファンヒーター導入によりエアコンの使用が大幅に減ったことが寄与した。
節電 (電灯)	目標 1,897 kwh	目標未達成
<ul style="list-style-type: none"> 照明 On/Off の徹底 不在時はパソコンの電源 Off 	実績 2,684 kwh 基準年比 38.6%	電気ファンヒーターの導入により、空調以外の電力消費が大幅に増加した。
CO2 削減	目標 1,727 Kg-CO2	目標達成
	実績 1,676 Kg-CO2 基準年比 -4.9%	各電力により目標達成と未達成が別れたが、総合的な CO2 削減量は、目標を達成できた。
節水活動推進	目標 77%	目標達成
<ul style="list-style-type: none"> 清掃時の節水活動実施率の向上 	実績 100%	継続的に節水活動を続けている。

取組計画	達成状況	評価
(蛇口はゆっくり開く、こまめに閉める)	目標値クリア	今後も同様に取り組みたい。
燃えるごみ減量	目標 35 Kg	目標達成
・オフィスゴミの分別を徹底する。	実績 14 Kg 基準年比 -61.1%	目標値を大きくクリアしているが、もともとゴミの量が少なく、月によるばらつきが多い。引き続き活動に取り組みたい。
エコ商品購入率	目標 40%	目標未達成
・エコマークのあるもの、環境認証製品、グリーン購入適合品目を優先的に購入する。	実績 25% 基準年比 625%	エコ商品が存在しない備品を多く購入した為、未達成となった。エコ製品の実態を踏まえて目標値を再検討したい。
環境製品販売	目標 13,808 トン	目標達成
・環境負荷低減製品（アトムシックス、アトム ZERO、高炉セメント）を積極的に販売する。	実績 19,369 トン 基準年比 82.4%	高炉セメントの売上増により目標を大幅に超える達成ができた。引き続き販売を強化していきたい。

4.3. 環境関連法規の遵守状況

以下の当社が関係する環境関連法規に関して、違反はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘・指導、利害関係者からの苦情及び訴訟は当社設立の 2008 年 3 月以来ありません。

環境関連法	該当する要求事項	適合状況
堺市環境基本条例	<ul style="list-style-type: none"> ・環境汚染の防止、 ・自然環境の適正な保全 ・事業活動に係る環境への負荷の低減 ・市が実施する施策への協力 	適合：遵守
堺市循環型社会形成推進条例	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料等の廃棄抑制、原材料等の循環的な利用または、適正処分 ・製品、容器等の廃棄抑制と、製品、容器等の循環的利用の促進 ・自らの製品、容器等の循環的利用 ・循環型社会の形成への努力 ・市が実施する施策への協力 	適合： リサイクル型商品の積極的な取扱い（高炉セメント、アトムシックス（廃石膏ボードリサイクル型固化材））
国等による環境物品等の調達 の推進等に関する法律	・物品の購入、借り受け、又は役務の提供時に環境物品等を選択	適合：遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物（オフィスゴミ）の適正処理	適合：遵守

環境関連法	該当する要求事項	適合状況
る法律		
特定家庭用機器再商品化法	パソコン廃棄時の適正処理	適合：今期は廃棄なし。

4.4. その他の環境活動への取組み

4.4.1. 六価クロム溶出低減型固化材「アトムシックス」の LCA の実施

ブルーテックは、製品グリーンパフォーマンス高度化推進事業（GP事業）に平成 20 年度の枠で参加し、地盤改良固化材アトムシックスの LCA を実施しました。アトムシックスは、既に第三者機関によって平成 20 年 3 月に LCA を実施しておりますが、ブルーテックの更なる環境負荷低減への取組みとして、自社での LCA 実施体制の構築を目的として、本事業へ応募しました。



LCA 実施製品アトムシックス

今回当社が行った LCA は、評価対象を温室効果ガスによる地球温暖化とし、影響度を CO2 排出量換算で算出しました。

今回の LCA 実施では以下 2 点の負荷を新たに考慮に入れたことが、前回実施した LCA との相違点となります。

1. アトムシックスの包装容器であるフレコンバッグに関する負荷。
2. アトムシックスの現場までの輸送負荷。

製品グリーンパフォーマンス高度化推進事業（GP 事業）とは？

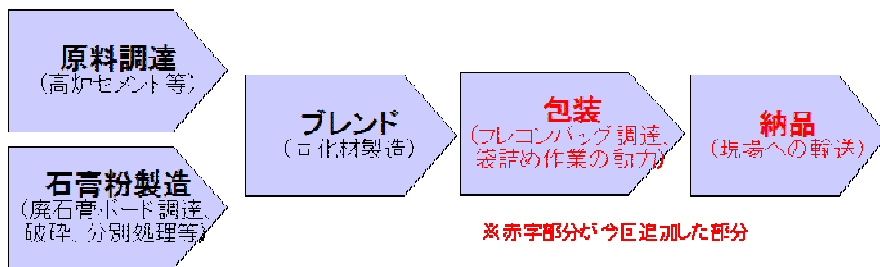
産業と民生の両部門における CO2 排出量削減を、効率的・効果的に促進し、我が国のエコプロダクツの市場の着実な普及拡大を図ることを目的に、（社）産業環境管理協会が経済産業省からの受託により平成 18 年度から実施している事業で、具体的には企業への LCA 及び環境デザイン設計の手法の導入を支援します。

LCA とは？

LCA とは、ライフサイクルアセスメント(Life Cycle Assessment)の略で、製品やサービスの環境影響を評価する手法です。LCA では、製品やサービスに関係する全ての要素（製造、輸送、販売、使用、廃棄、再利用まで各段階全て）について環境負荷を明らかにし、その改善策を利害関係者の間で検討することができます。

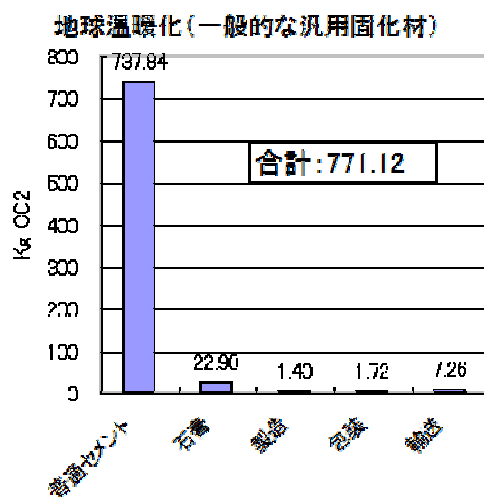
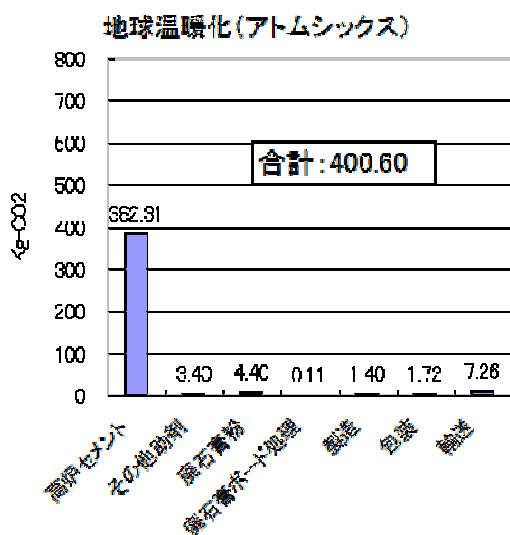
代替製品や新製品の環境負荷を既存の製品と比較し、より環境負荷の少ない製品製造・サービス提供に向けた意思決定を行うためのツールでもあり、近年では、カーボンフットプリントなど「環境負荷の見える化」のための指標を計算するツールとしても用いられています。

アトムシックスのシステムフロー略図



LCAの結果、温室効果ガス負荷はアトムシックス1トンあたり、400.6Kg-CO2でした。そのうち、素材である高炉セメントの負荷は382.31Kg-CO2と影響のほとんどを占め、今回新たに測定した包装に関する負荷は1.72Kg-CO2、納品時の輸送に関する負荷は7.26Kg-CO2でした。

一方、従来の一般軟弱土用地盤改良材を自社で製造した場合の温室効果ガス負荷を測定すると、771.12Kg-CO2とアトムシックスの約1.9倍となり、アトムシックスの地球温暖化への環境負荷の低さを確認できました。



4.5. 代表者による全体評価と見直し

今期はエコアクション21の活動を開始して初めての評価となりましたが、CO2、水、廃棄物の削減に関してはおおむね目標値を達成できました。中にはゴミの量や、環境製品販売量のように大幅に目標値を超えたものもありましたが、今回は3か月という短期間でもあり、季節変動により数値は変化しますので、今後の1年単位の活動の中で、再度観察していきたいと思えます。全体的な評価としては、課題のある項目もありますが、全体としての達成状況は評価できるものとなったと思えます。

目標の修正については、一点です。備品購入のエコ製品を優先的に購入する取組みについては、エコ製品が存在しなかった実験器具(ビーカー等)の購入が響き、エコ製品購入率が下がってしまいました。

他にもエコ製品が存在しない文具もあり、その実態を踏まえ目標値の40%を30%に下方修正しました。

活動内容については二点活動を追加することになりました。新規に導入したファンヒータの電源OnOffの徹底と、昼間の照明の間引き消灯の推進です。

今後2009年9月期への活動に向けては、2008年度と同じ環境方針、環境目標で引き続きエコアクション21の活動に取り組むのと同時に、環境方針を社内のみならず社外への積極的に発信していきたいと思っております。また、エコアクション以外の環境活動についても、機会を見つけて積極的に取り組んで参る所存でございます。

5. 今後の環境目標と活動計画

引き続き、2009年9月期の目標値を目指して、下記の環境活動を行う。

(下線部分は、変更・追加分)

		2008.9月期	2009.9月期	
		*1	*2	
項目	単位	基準年	目標	手段
節電 (空調)	kwh	2,726	2,671	<ul style="list-style-type: none"> 空調設定の適正化 (夏季 28°C、冬期 20°C) 換気の設定を弱にする。
節電 (電灯)	kwh	1,936	1,897	<ul style="list-style-type: none"> 照明 On/Off の徹底 <u>・昼間は間引き消灯を実施</u> 不在時はパソコンの電源 Off <u>・ファンヒーターの電源 On/Off の徹底</u>
CO2 削減	Kg-CO2	1,762	1,727	
節水活動推進	%	70	77	<ul style="list-style-type: none"> 清掃時の節水活動実施率の向上 (蛇口はゆっくり開く、こまめに閉める)
燃えるごみ減量	Kg	36	35	<ul style="list-style-type: none"> オフィスゴミの分別を徹底する。
エコ商品購入率	%	4	<u>30</u>	<ul style="list-style-type: none"> エコマークのあるもの、環境認証製品、グリーン購入適合品目を優先的に購入する。
環境製品販売	トン	10,621	13,808	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷低減製品 (アトムシックス、アトム ZERO、高炉セメント) を積極的に販売する。
参考 (売上高)	千円	65,321	-	-

*1 2008.9月期(2007/10~2008/9)は実活動した 2008/7~2008/9 の値を通期相当 (12 か月分) に変換

*2 2009.9月期(2008/10~2009/9)は活動予定の 2008/12~2008/9 の値を通期相当 (12 か月分) に変換